

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成26年4月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 4 月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 26 年 4 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	4月1日～30日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	4月17日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

(3) 騒音・低周波空気振動 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	4月22日～23日	2回/年 (4月、10月)

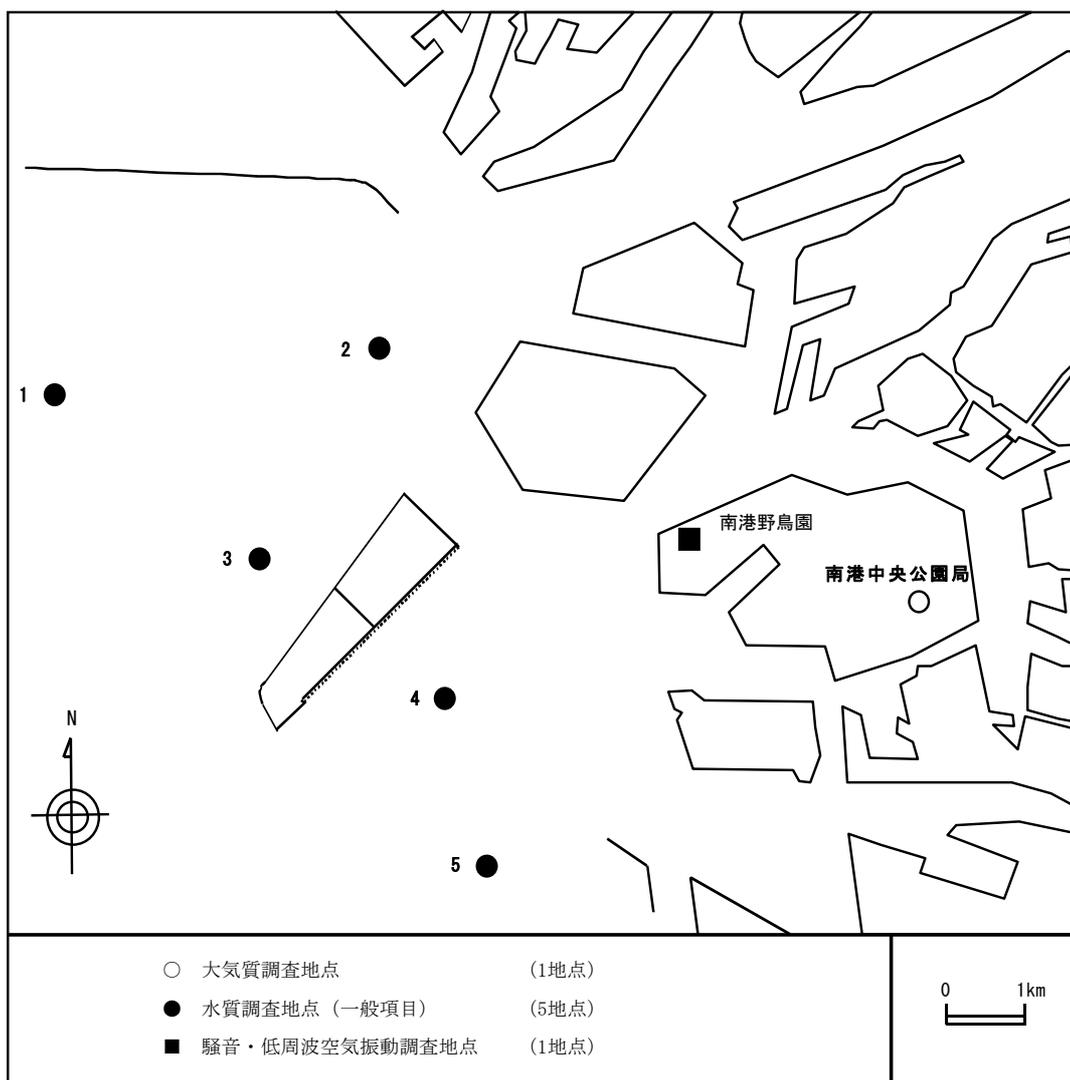
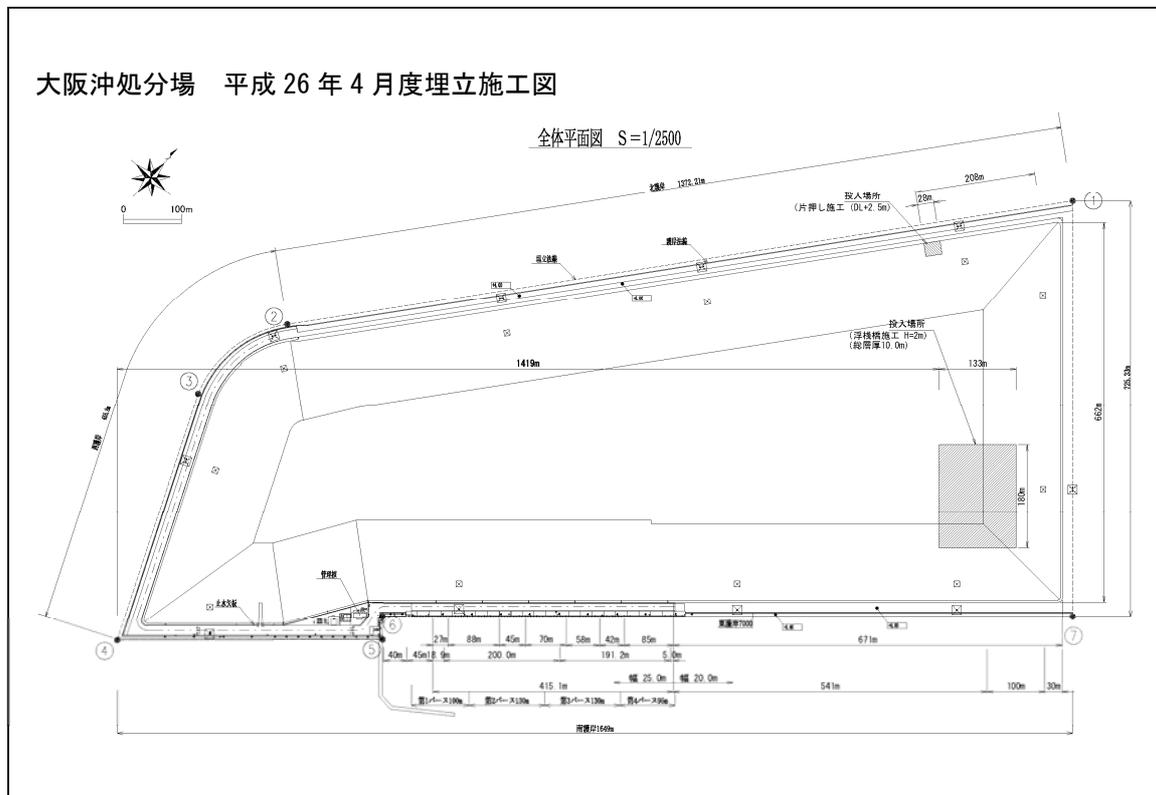


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点 (平成 26 年 4 月)

2. 工事の実施状況

平成 26 年 4 月の工事の実施状況は、図－2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
2,694,881	19.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況 (平成 26 年 4 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.008ppm であった。また、日平均値の最高値は0.016ppm、1時間値の最高値は0.028ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.031ppm であった。また、日平均値の最高値は0.057ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.032mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は0.064mg/m³、1時間値の最高値は0.091mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.5～8.6、下層で 8.1 であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.5)、調査地点 3 (8.6)、調査地点 4 (8.5)、調査地点 5 (8.5) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）では上層で 7.7～8.6 であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.8～7.3mg /L、下層で 1.7～2.0mg /L の範囲にあり、上層では全調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (3.8mg/L)、調査地点 2 (7.3mg/L)、調査地点 3 (4.1mg/L)、調査地点 4 (5.6mg/L)、調査地点 5 (4.9mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 2 及び調査地点 4 でこの値を上回っていた。

調査当日、各調査地点では赤潮が確認されており、上層ではほぼ全地点でクロロフィル a、水素イオン濃度(pH)及び溶存酸素量(DO)の値が高くなっていることから、植物プランクトンの活動が活発であったと考えられた。また、本調査と同一日に調査が実施された近傍の環境基

準点 C-3（南港西）においても赤潮が確認されており、上層の化学的酸素消費量(COD)は 7.7mg/L と高い値となっていたことから、植物プランクトンの増殖の影響を受けて化学的酸素消費量(COD)の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 14~16mg /L、下層で 6.9~7.9mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.43~1.1mg/L、下層で 0.20~0.27mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、4 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (1.1mg/L)、調査地点 4 (0.90mg/L)、調査地点 5 (0.72mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.042~0.10mg/L、下層で 0.020~0.027mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、4 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.10mg/L)、調査地点 4 (0.074mg/L)、調査地点 5 (0.064mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、いずれもこの範囲内にあり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 4~11 度(カリン)、下層で 1~2 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 5~14mg/L、下層で 2~4mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 10~78 μ g/L、下層で 2~4 μ g/L の範囲であった。

注：環境基準点 C-3 における平成 26 年 4 月の水質測定結果は、現時点では未確定値である。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第 1~4 号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 45 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 41 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値以下であった。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 69 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

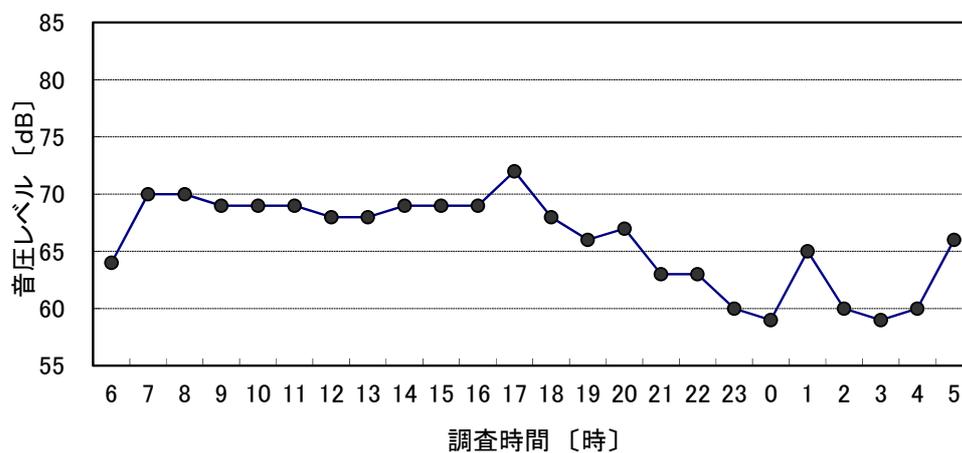


図-3 低周波空気振動の音圧レベルの時間推移

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成26年4月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	4
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成26年4月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.009	0.023
	2 (水)	0.007	0.016
	3 (木)	0.007	0.013
	4 (金)	0.005	0.009
	5 (土)	0.004	0.007
	6 (日)	0.004	0.007
	7 (月)	0.009	0.015
	8 (火)	0.013	0.025
	9 (水)	0.011	0.019
	10 (木)	0.010	0.020
別	11 (金)	0.005	0.011
	12 (土)	0.008	0.018
	13 (日)	0.008	0.017
	14 (月)	0.007	0.011
	15 (火)	0.011	0.020
	16 (水)	0.015	0.025
	17 (木)	0.016	0.028
	18 (金)	0.006	0.021
	19 (土)	0.007	0.015
	20 (日)	0.005	0.010
値	21 (月)	0.003	0.006
	22 (火)	0.007	0.023
	23 (水)	0.008	0.017
	24 (木)	0.008	0.012
	25 (金)	0.009	0.017
	26 (土)	0.008	0.017
	27 (日)	0.006	0.012
	28 (月)	0.007	0.014
	29 (火)	0.003	0.006
	30 (水)	0.007	0.016
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.008	
日平均値の最高値 (ppm)		0.016	
1時間値の最高値 (ppm)		0.028	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成26年4月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.008	0.025
	2 (水)	0.005	0.042
	3 (木)	0.006	0.043
	4 (金)	0.001	0.009
	5 (土)	0.000	0.004
	6 (日)	0.000	0.001
	7 (月)	0.001	0.004
	8 (火)	0.035	0.202
	9 (水)	0.013	0.066
	10 (木)	0.017	0.164
別	11 (金)	0.001	0.006
	12 (土)	0.003	0.035
	13 (日)	0.001	0.010
	14 (月)	0.002	0.008
	15 (火)	0.004	0.036
	16 (水)	0.018	0.124
	17 (木)	0.019	0.112
	18 (金)	0.001	0.004
	19 (土)	0.000	0.003
	20 (日)	0.000	0.002
値	21 (月)	0.006	0.021
	22 (火)	0.002	0.018
	23 (水)	0.009	0.050
	24 (木)	0.005	0.037
	25 (金)	0.011	0.056
	26 (土)	0.003	0.029
	27 (日)	0.000	0.000
	28 (月)	0.005	0.022
	29 (火)	0.000	0.000
	30 (水)	0.006	0.039
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		699	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.035	
1時間値の最高値 (ppm)		0.202	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成26年4月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (火)	0.039	0.063
	2 (水)	0.034	0.066
	3 (木)	0.034	0.051
	4 (金)	0.017	0.032
	5 (土)	0.012	0.026
	6 (日)	0.008	0.018
	7 (月)	0.028	0.054
	8 (火)	0.054	0.094
	9 (水)	0.050	0.077
	10 (木)	0.039	0.081
別	11 (金)	0.021	0.041
	12 (土)	0.036	0.054
	13 (日)	0.030	0.055
	14 (月)	0.030	0.048
	15 (火)	0.037	0.062
	16 (水)	0.057	0.079
	17 (木)	0.046	0.075
	18 (金)	0.031	0.072
	19 (土)	0.014	0.031
	20 (日)	0.016	0.034
値	21 (月)	0.028	0.044
	22 (火)	0.028	0.068
	23 (水)	0.034	0.064
	24 (木)	0.036	0.051
	25 (金)	0.039	0.068
	26 (土)	0.031	0.048
	27 (日)	0.015	0.030
	28 (月)	0.036	0.063
	29 (火)	0.017	0.026
	30 (水)	0.030	0.052
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		717	
月 平 均 値 (ppm)		0.031	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.057	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.094	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		4	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成26年4月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	1.1	2.4	WNW	N
	2 (水)	1.3	2.5	ESE	NNE, E
	3 (木)	1.5	3.7	W	WNW
	4 (金)	2.7	6.2	WSW	NNW
	5 (土)	1.5	3.0	WNW	WNW
	6 (日)	2.0	4.0	N	NNW
	7 (月)	1.3	3.6	SW	SW
	8 (火)	0.8	2.5	WSW	WSW
	9 (水)	1.1	2.4	W	WSW
	10 (木)	1.7	3.4	NNW	N
別	11 (金)	1.3	2.3	NNW, WSW	N
	12 (土)	1.0	2.1	WSW, W	CALM
	13 (日)	1.0	2.0	WSW	WSW
	14 (月)	1.4	2.5	NNW	NNW
	15 (火)	1.1	2.4	SW	SW
	16 (水)	0.8	1.5	W	W
	17 (木)	1.0	2.1	SW	CALM
	18 (金)	1.3	3.1	NE	N
	19 (土)	1.5	2.2	NNW, N	N
	20 (日)	1.1	2.4	NE	NE
値	21 (月)	1.0	1.7	ENE	NNW, N
	22 (火)	0.9	1.9	N	N
	23 (水)	0.9	2.7	WSW	W
	24 (木)	0.9	1.9	W	W
	25 (金)	0.9	2.3	W	W, CALM
	26 (土)	0.9	3.1	WSW	WNW
	27 (日)	1.1	2.9	WSW	ESE, WNW
	28 (月)	1.1	2.0	E	NE
	29 (火)	1.3	2.3	E	NE
	30 (水)	1.0	2.2	W	W
測定時間（時間）		720			
月平均風速（m/s）		1.2			
月最大風速（m/s）		6.2			
月最多風向（16方位）		N			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成26年4月分]

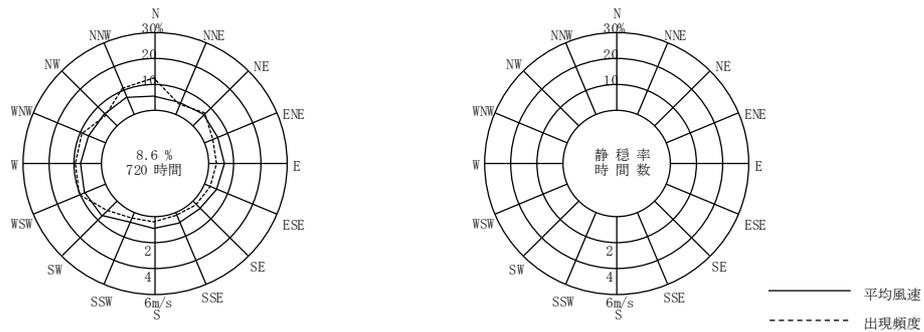
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	31	48	28	26	21	16	9	13	16	36	73	67	68	40	78	88	62	720
頻度 (%)	4.3	6.7	3.9	3.6	2.9	2.2	1.3	1.8	2.2	5.0	10.1	9.3	9.4	5.6	10.8	12.2	8.6	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.3	1.2	1.3	1.1	0.8	0.9	0.9	0.8	1.5	1.6	1.5	1.3	1.3	1.4	1.1	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成26年4月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成26年4月分]

調査日：平成26年4月17日

調査点 項目		調査点					最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		9:05	8:40	9:30	10:15	10:00	—	—
透明度	[m]	2.5	1.5	2.6	2.0	1.9	1.5 ~ 2.6	2.1
水温	[°C]	13.3	13.2	13.7	13.1	13.4	13.1 ~ 13.7	13.3
		11.6	11.4	11.6	11.6	11.6	11.4 ~ 11.6	11.6
塩分	[—]	28.3	26.6	27.3	28.3	28.1	26.6 ~ 28.3	27.7
		31.7	31.7	31.7	31.8	31.8	31.7 ~ 31.8	31.7
濁度	[度(カリン)]	4	11	5	7	5	4 ~ 11	6
		2	1	1	2	1	1 ~ 2	1
浮遊物質量 (SS)	[mg/L]	5	14	6	11	8	5 ~ 14	9
		2	3	3	4	2	2 ~ 4	3
水素イオン濃度 (pH)	[—]	8.5	8.5	8.6	8.5	8.5	8.5 ~ 8.6	—
		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1 ~ 8.1	—
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	3.8	7.3	4.1	5.6	4.9	3.8 ~ 7.3	5.1
		1.9	2.0	1.7	2.0	2.0	1.7 ~ 2.0	1.9
溶存酸素量 (DO)	濃度	14	15	16	14	14	14 ~ 16	15
	[mg/L]	7.4	6.9	7.9	7.4	7.2	6.9 ~ 7.9	7.4
	飽和度	160	169	183	159	160	159 ~ 183	166
	[%]	83	77	89	83	81	77 ~ 89	83
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.43	1.1	0.48	0.90	0.72	0.43 ~ 1.1	0.73
		0.25	0.27	0.20	0.25	0.26	0.20 ~ 0.27	0.25
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.042	0.10	0.046	0.074	0.064	0.042 ~ 0.10	0.065
		0.025	0.020	0.020	0.027	0.021	0.020 ~ 0.027	0.023
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	10	78	11	50	24	10 ~ 78	35
		2	4	2	3	3	2 ~ 4	3

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[平成26年4月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成26年4月22日午前10時～4月23日午後10時

時間区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	48	43	51	43	39	46	41	37	43	45	40	48	鳥、港湾作業
夜間	43	39	49	37	35	43	34	33	39	41	36	45	車両、船舶

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

3. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表[平成26年4月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成26年4月22日～23日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	
06:00	昼間	C	60dB(A)	48	42	39	44	鳥、車両、船舶
07:00				47	42	40	44	鳥、車両、船舶
08:00				51	42	40	46	鳥、港湾作業、航空機、船舶
09:00				49	43	41	45	鳥、港湾作業、航空機
10:00				49	45	43	46	鳥、港湾作業、航空機
11:00				49	46	43	47	鳥、港湾作業、航空機
12:00				49	43	41	45	鳥、港湾作業、航空機
13:00				48	44	42	45	鳥、港湾作業、航空機
14:00				50	44	42	48	鳥、港湾作業、航空機
15:00				50	44	41	45	鳥、港湾作業、航空機、船舶
16:00				49	44	42	45	鳥、港湾作業、航空機、船舶
17:00				49	44	42	46	鳥、港湾作業、航空機、船舶
18:00				49	43	40	46	鳥、港湾作業、航空機、船舶
19:00				45	41	39	42	港湾作業、航空機
20:00	47	43	41	44	港湾作業、航空機、船舶			
21:00	43	39	37	40	港湾作業、航空機、船舶			
22:00	夜間	50dB(A)	45	40	37	41	港湾作業、航空機	
23:00			43	36	33	40	港湾作業、航空機、車両	
00:00			43	36	33	39	港湾作業、車両	
01:00			44	37	33	40	港湾作業、車両	
02:00			39	35	33	36	車両、船舶	
03:00			39	35	33	36	車両、船舶	
04:00			43	37	34	40	鳥、車両、船舶	
05:00			49	43	39	45	鳥、車両、船舶	
最小値				39	35	33	36	
最大値				51	46	43	48	
平均値				47	41	39	44	

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 環境基準はL_{Aeq}である。

騒音・振動様式第3号（埋立地関連）

低周波空気振動調査結果総括表〔平成26年4月分〕

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成26年4月22日午前10時～4月23日午後10時

音圧レベル（デシベル）												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
77	75	80	69	68	72	58	57	62	83	80	85	0.0	1.1

注：1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

騒音・振動様式第4号（埋立地関連）

低周波空気振動調査結果総括表〔平成26年4月分〕

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成26年4月22日～23日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
06:00	72	64	54	78	0.0	0.6
07:00	78	70	60	83	0.3	0.8
08:00	79	70	59	84	0.0	0.2
09:00	77	69	58	84	0.1	0.2
10:00	77	69	58	84	0.4	0.9
11:00	76	69	58	84	0.5	0.8
12:00	77	68	58	84	0.2	1.1
13:00	75	68	57	80	0.2	0.6
14:00	76	69	58	82	0.3	0.7
15:00	76	69	58	81	0.0	0.4
16:00	77	69	59	84	0.0	0.0
17:00	80	72	62	85	0.0	0.0
18:00	76	68	57	81	0.0	0.9
19:00	76	66	55	84	0.4	1.0
20:00	82	67	56	92	0.3	1.2
21:00	73	63	52	83	0.4	0.7
22:00	71	63	52	85	0.5	0.7
23:00	68	60	49	79	0.1	0.3
00:00	66	59	49	72	0.0	0.2
01:00	74	65	54	79	0.0	0.0
02:00	67	60	49	75	0.0	0.0
03:00	67	59	49	73	0.0	0.1
04:00	67	60	49	73	0.0	0.0
05:00	74	66	54	82	0.0	0.0
最小値	66	59	49	72	0.0	0.0
最大値	82	72	62	92	0.5	1.2
平均値	74	66	55	81	0.2	0.5